

# 味はナッツ！タネを食べるペポかぼちゃの作り方

## 概要 Abstract

かぼちゃの種は、菓子やパン等の食材として利用されています。しかし、かぼちゃの種は、輸入品が大半を占めており、国内産とくに道内産への需要が高まっています。

近年、種に硬い殻が無いペポかぼちゃ新品種「ストライプペポ」が開発されました。

そこで、「ストライプペポ」に適した栽培方法を検討し、栽培指針を策定しました。

## 成果 Results

表1 定植時期と収量の関係

定植期 (旬)	着果数 (果/株)	一果種子 乾重 (g/果)	収量 (乾燥種子) (kg/10a)
5月下	2.1	120	236
6月上	1.6	132	196
6月中	1.2	103	113

注) 畝間300cm×株間35cmで栽培

- 着果数および収量は、定植時期が早いほど大きく向上した。
- 定植は、5月下旬～6月上旬までのできる限り早い時期に行う。

表2 種の成熟に必要な雌花開花後日数

開花後日数 (日)	種子粒数 (粒/果)	百粒重 (g)	製品率 (%)
51	600	14.7	0
59	579	19.1	97.8

種が成熟するには、開花後60日程度を要する。

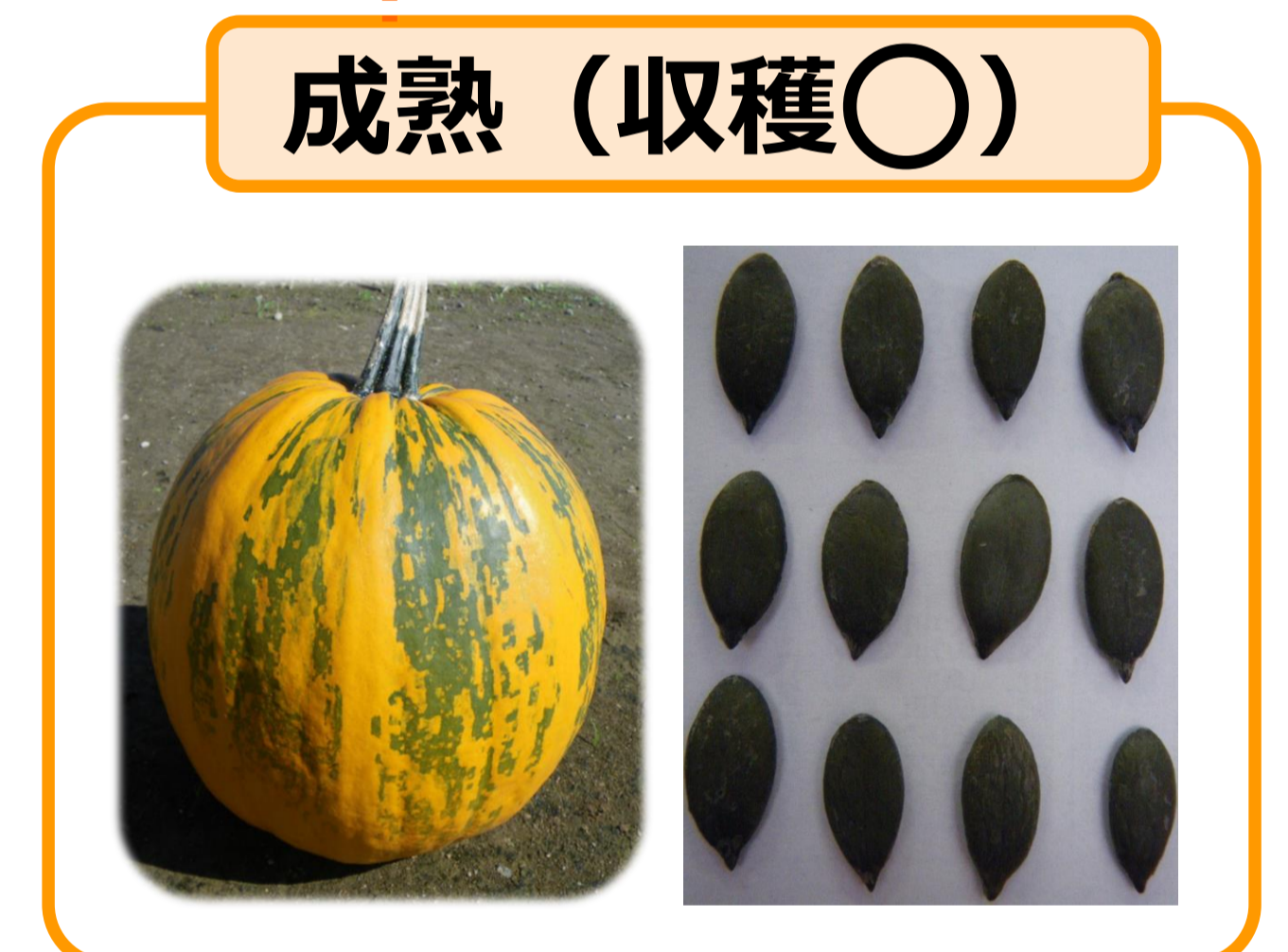
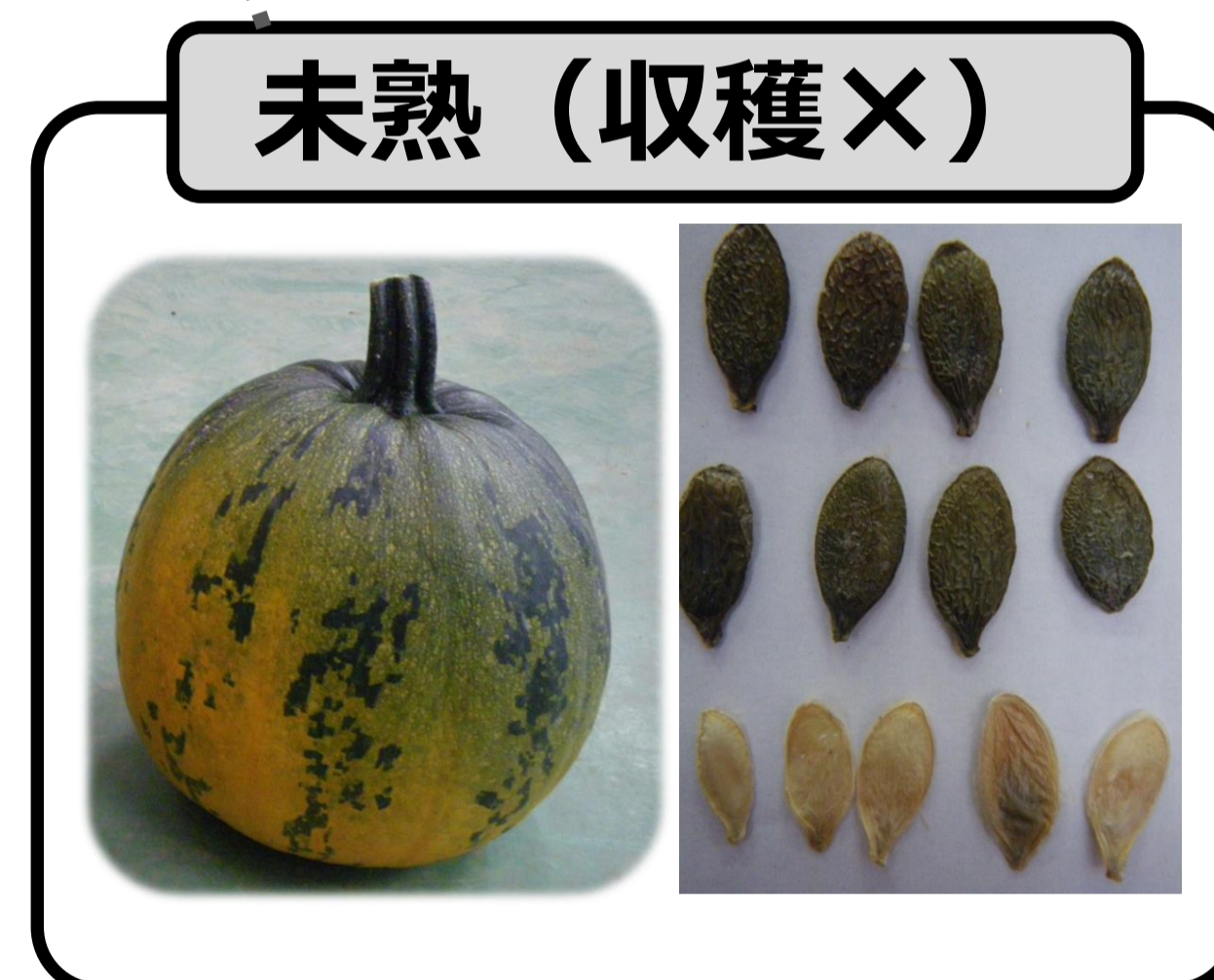


表3 ペポかぼちゃ品種「ストライプペポ」の栽培指針

項目	技術	備考
育苗	72穴セル成型ポット、育苗日数:10~14日	セル成型苗直接定植
定植時期	霜害の危険が低くなる5月下旬以降、6月上旬までのできる限り早い時期	-
栽植様式	畝間300cm×株間35cm(952株/10a)、1条植え	マルチ使用、ベッド幅:約60cm
整枝法	無摘心、放任栽培	-
施肥法	施肥量は西洋かぼちゃ施肥標準量に準じる	-
防除	うどんこ病:7月中旬以降、3~5回	※使用できる農薬は、「かぼちゃ種子」に登録のある剤に限る
収穫方法	開花後60~80日を目安、果皮色が全体的に橙色になってから収穫	未熟果の混入を避ける
保管方法	常温の倉庫で11月下旬頃を目安	収穫後から1次加工(種取出し)まで

## 普及 Dissemination

北海道内における「ストライプペポ」栽培時の資料となる。

## 連絡先 Contact

上川農業試験場  
研究部 地域技術グループ  
0166-85-2200  
kamikawa-agri@hro.or.jp